



源氏物語和歌



桐麩

桐麩更夜

あはれみちのそとに  
あはれみちのそとに  
あはれみちのそとに  
あはれみちのそとに  
あはれみちのそとに

あはれみちのそとに

あはれみちのそとに  
あはれみちのそとに  
あはれみちのそとに  
あはれみちのそとに  
あはれみちのそとに

カキリトテ  
イカニホシキトハ  
世ノ字也  
今ライキもタキトノ也

世ノ

三枚野ハ禁中ニタトフ夜吹ハスア八洞ヲ云小秋ハ表文ノ夏ニ

こころがけに残さぬを  
月八日のことすすむ風いと  
よきしうたててなすも  
のりもあう

命奴

山びづりのこころがけに

あが記表あり守好くあうれ

身良の人云

更衣母

いじく虫のひらひらあうれ  
石をたもあうれ

下ラキ風

あうれ風あうれ  
いじく虫のひらひらあうれ  
あうれ風あうれ  
あうれ風あうれ

あうれ風あうれ

クツ子リマホシハ方士也幻術士ガ着也玉ノアリカトハ更衣ノ  
不液ノ芙蓉容未央柳長恨舞大液ハ池ノ名也芙蓉ハ蓮ノ花也未央ハ

アサキフノ岩ノ月ハ十二トカスムシトノ心  
クモノウモ禁中ハ御泪ヲシテ月ヲ御ラズル母美















ホメカスオホノ霜ニトハ恋ハハ係成  
思ハミタルニ也

深氏

あつたをなほしにじすはなつ  
あつたをなほしにじすはなつ

十ノキクモ弥勤ノ世ヲ契リ終ヒテ思日  
出給ニヤイツレ世ニカクオホ世ノ度也

空蟬

あつたをなほしにじすはなつ  
あつたをなほしにじすはなつ

セミノ羽モクナキテケル 立老ノ日ナレハ老ノ衣ガハハ

あつたをなほしにじすはなつ

あつたをなほしにじすはなつ

あつたをなほしにじすはなつ

○ あつたをなほしにじすはなつ  
尼慈

あつたをなほしにじすはなつ

あつたをなほしにじすはなつ

サイツクシワカ第ハ紫ニカクニオニクハタリキエソラナキタハ  
筆上ヲ思フ有消筆キヨソニテリカ言少何云

Handwritten cursive text, likely a signature or name, written in black ink on the right page.

深氏

Handwritten cursive text, likely a signature or name, written in black ink on the right page.

尾五右

御弟ノワカハ 御三宮ヲハツ系トヨマハ  
又カリヨナリムハ月ニ

Handwritten cursive text, likely a signature or name, written in black ink on the right page.

Handwritten cursive text, likely a signature or name, written in black ink on the left page.

僧都

Handwritten cursive text, likely a signature or name, written in black ink on the left page.

Handwritten cursive text, likely a signature or name, written in black ink on the left page.

深氏

Handwritten cursive text, likely a signature or name, written in black ink on the left page.

サシクニハサシクニハサシクニハ





十ツムハ陽氏ノ我メヲサシテノ至ラ也 伊 五十ヲ又ハクメナラヌ也

Handwritten cursive text in black ink.

Handwritten cursive text in black ink.

テニツミテハニツミテハニツミテハニツミテ也 伊 伊 伊

アシワカノ葉ノワカサニヤセテハワカノ葉ヲワカノ葉ト云リ

エハ立十カラ是ハ立十カラクネニシテハ海ノ波ト云ル

Handwritten cursive text in black ink.

Handwritten cursive text in black ink.

ヨル波ノムモノヲルハヤリニ陽氏ノ思ハキ

Handwritten cursive text in black ink.

Handwritten cursive text in red ink.

Handwritten cursive text in black ink.

Handwritten cursive text in black ink.

Handwritten cursive text in black ink.

Handwritten cursive text in black ink.

Handwritten cursive text in black ink.

Handwritten cursive text in red ink.

Handwritten cursive text in black ink.

Handwritten cursive text in black ink.

Handwritten cursive text in red ink.

ヲホシ出テワブルノ至リ第ノ根ニ覆ラソノツリ

業ニシテハ...

業ニシテハ...

...

...

モロトモニ大干山大内山ハニ和古ニアリトド...

...

...

里ワカタイソノ...

但馬名...

ナレト...

...

...

...

...

...

...

日

...



伊成

あはれなる心づからしるす

いづれにこそかきつらむ

ふれあひのまねぞりあはる

むかしのおらえふあはる

○

紅葉の紅葉

伊成

物さよふらふあはる

ゆらちあはる

あはるこころあはる

あはるこころあはる

あはるこころあはる

あはるこころあはる

玉の海渡の虎ノホナレバカラス人トヨモ

伊成

あはるこころあはる

あはるこころあはる

イカサツニシ世ニ子ラソクナリ

伊成

あはるこころあはる

あはるこころあはる

余帰か









夏アリ其盤山菅山栲海松青目ノ石ニツキテ也  
是ホラハ松ニハサミソフル之云云

りふりしとてふとてふにふあき  
みぢちひとてふとてふにふあき  
チイロトモ ミチノヒル地トハ係氏ノムサダメ  
ナキヲヨメリは名上ヤウクヲトナヒモアム也 内約

もあやのふさきとてふあき  
神の志のらわさき  
分ナシヤ 葵ハ通ト云ニヨセタリ人ニハアフト  
ヨリ神ノシルトハ今日ノウツリヨリナドラナ  
待ナレコトライハサレトカイナシト云リ 係氏

八十氏ノあきとてふあき  
ハカシケルムガ 八十氏ノトハアトク人ニラヒタル人ト  
後撰ヤ四葉系ノ月物見ト云ニ無タリ 内約

クヤシクモカサミアフヒハアフトアルガカリニテ 冥ニ下ト  
サレバクヤシキト也 以息不

神女ノ遊ハルルハ云々  
ありたらぬのらうとて  
油丸ニ云テトハ係氏ノ云ニツキタル河也サテ油丸トモイラ  
田子モイヤシキ人ナリサナトトトリテ係中ニラ 係氏  
ツ物前モサカト也

アサミニヤ サナトトル 田子ハ係氏ノアサキニ



文選 巫山神女朝為行雲  
暮為行雨

海女

えしのおめあつふしを  
いとごまくれようふくし  
くられたるまのあらは  
あまのつらみは  
あまのつらみは  
あまのつらみは

三六の風よつらふ木のもようげ  
あまのつらみは  
あまのつらみは

あまのつらみは  
あまのつらみは

あまのつらみは  
あまのつらみは  
あまのつらみは

あまのつらみは  
あまのつらみは  
あまのつらみは

あまのつらみは  
あまのつらみは  
あまのつらみは

あまのつらみは  
あまのつらみは  
あまのつらみは



あん神あまのの松む  
 へん神あまのの松む  
 あまのの松む  
 マシマモルクニツカミトハ地祇ト書山祇ト  
 書テハ山ツミ神ト後シカミハ也名也  
 クニツカミ  
 十ヲサリゴトハ実心ニテハ十ナド也  
 深氏係ヲ一ツツサント也  
 の神さうまへしとまめがれど  
 んのうらにのぞくあまのの松む  
 伊氏

あん神あまのの松む  
 へん神あまのの松む  
 あまのの松む  
 マシマモルクニツカミトハ地祇ト書山祇ト  
 書テハ山ツミ神ト後シカミハ也名也  
 クニツカミ  
 十ヲサリゴトハ実心ニテハ十ナド也  
 深氏係ヲ一ツツサント也  
 の神さうまへしとまめがれど  
 んのうらにのぞくあまのの松む  
 伊氏

しづかにいひしるすはなれりて  
まじりてちかきくすのりたふ

御書

いふはるるすのりていふはるるす  
まじりてちかきくすのりたふ

御書

いふはるるすのりていふはるるす  
まじりてちかきくすのりたふ

御書

いふはるるすのりていふはるるす  
まじりてちかきくすのりたふ

御書

いふはるるすのりていふはるるす  
まじりてちかきくすのりたふ

御書

いふはるるすのりていふはるるす  
まじりてちかきくすのりたふ



伊氏

月ノグハシキ其ノ由ラニ

本ノシメクニヨリテ

伊氏

本ノシメクニヨリテ

本ノシメクニヨリテ

伊氏

本ノシメクニヨリテ

本ノシメクニヨリテ

伊氏

本ノシメクニヨリテ

伊氏

本ノシメクニヨリテ

伊氏

本ノシメクニヨリテ



江ノ浦の女

伊豆の島に女を嫁にす

あふあふのこころをいふ

源氏

花の散るをよみては

よきよきとていふ

石麻呂

よきよきとていふ

よきよきとていふ

源氏

よきよきとていふ

よきよきとていふ

源氏

よきよきとていふ

よきよきとていふ

源氏

よきよきとていふ

よきよきとていふ

源氏

一

いふことありてしりしうらなれしあつて

あつていふことありてしりしうらなれしあつて

あつていふことありてしりしうらなれしあつて

あつていふことありてしりしうらなれしあつて

あつていふことありてしりしうらなれしあつて

一

あつていふことありてしりしうらなれしあつて

あつていふことありてしりしうらなれしあつて

アノ御十キレ物後ノカノ秀逸ト  
後成ハ女云也ソナタノツレナリ

一ツシマバ あつていふことありてしりしうらなれしあつて

洞ノミヲニシツムトシ 愛人ヤレニ云ナリ至ラ

あつていふことありてしりしうらなれしあつて

あつていふことありてしりしうらなれしあつて

あつていふことありてしりしうらなれしあつて

原  
あつていふことありてしりしうらなれしあつて

あつていふことありてしりしうらなれしあつて

あつていふことありてしりしうらなれしあつて

見三十八名八相帝アルハトハ御代ノ更也

伊氏

うしろのまをのやまをうしろとみまのまはな  
ゆとひあつれておつてお母のまのまはな  
をうしろ  
ひやうれてあまをうしろとみまのまはな  
をうしろ  
君と伊氏うしろお母のまをうしろとみまのまはな  
おつてお母のまをうしろとみまのまはな  
うしろお母のまをうしろとみまのまはな  
うしろお母のまをうしろとみまのまはな

伊氏

伊氏

イツカ又春ノミヤコラ東ニミズル

余始

あつてお母のまをうしろとみまのまはな  
あつてお母のまをうしろとみまのまはな  
あつてお母のまをうしろとみまのまはな  
あつてお母のまをうしろとみまのまはな  
あつてお母のまをうしろとみまのまはな  
あつてお母のまをうしろとみまのまはな  
あつてお母のまをうしろとみまのまはな  
あつてお母のまをうしろとみまのまはな  
あつてお母のまをうしろとみまのまはな  
あつてお母のまをうしろとみまのまはな

伊氏





松くさくさ 此のまじりたるは 女は松くさくさ にはあはれ  
りしとて 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ  
松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ

あまびこくさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ  
松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ

松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ  
松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ

松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ  
松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ

分房ハ房ノ跡ヲ悲キハ是モ恋シク思 良清  
人ノタゲニナリト云

松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ  
松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ

惟光

松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ  
松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ

松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ  
松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ

分ヲトユ世トユヨハ仙境ヲ云リ去来ノカハリモナキニヨリ  
キ世トハ云リ乃ハ小玉ノ世ト云レ花亦依ルナバカクヨリナセリ

松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ  
松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ

松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ  
松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ

東ノミヅノ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ  
松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ

松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ  
松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ

松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ  
松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ

ミル能クニバシ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ  
松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ 松くさくさ

いんせいのきんぎょをばかちんが  
さくらんどうをばかちんが

おぼろ

羽のねにさくらんどうをばかちんが  
おぼろ

おぼろ

おぼろのきんぎょをばかちんが  
さくらんどうをばかちんが  
おぼろのきんぎょをばかちんが  
さくらんどうをばかちんが

おぼろのきんぎょをばかちんが  
さくらんどうをばかちんが  
おぼろのきんぎょをばかちんが  
さくらんどうをばかちんが  
おぼろのきんぎょをばかちんが  
さくらんどうをばかちんが  
おぼろのきんぎょをばかちんが  
さくらんどうをばかちんが  
おぼろのきんぎょをばかちんが  
さくらんどうをばかちんが

Handwritten text at the top of the right page, possibly a title or header.

以伴お サイニキ

あつあつとておぼろも城おちりて  
たのしみとておぼろも城おちりて

漢

雲らへんておぼろも城おちりて  
我ハ昔の事とておぼろも城おちりて

以伴お

なつちをばおぼろも城おちりて  
つらとておぼろも城おちりて

夕ツクナキ タツギナキ 夕ツクナキ

漢

あつあつとておぼろも城おちりて  
あつあつとておぼろも城おちりて  
あつあつとておぼろも城おちりて  
あつあつとておぼろも城おちりて

○

明石

あつあつとておぼろも城おちりて  
あつあつとておぼろも城おちりて  
あつあつとておぼろも城おちりて  
あつあつとておぼろも城おちりて

あつあつとておぼろも城おちりて  
あつあつとておぼろも城おちりて  
あつあつとておぼろも城おちりて  
あつあつとておぼろも城おちりて



海氏

Handwritten cursive text in the upper right section of the page.

Handwritten cursive text in the middle right section of the page.

海氏

Handwritten cursive text in the lower right section of the page.

海氏

Handwritten cursive text in the middle left section of the page.

海氏

Handwritten cursive text in the lower left section of the page, including a large bracketed area.

思ひあふくはあはれなる事なり  
とありあはれなる事なり  
ウラナクも思はれヨリ後ユユル八末ノ松山ヨリ

あはれなる事なり

あはれなる事なり

あはれなる事なり

あはれなる事なり

あはれなる事なり

あはれなる事なり

あはれなる事なり

あはれなる事なり

あはれなる事なり

あはれなる事なり

あはれなる事なり

あはれなる事なり

あはれなる事なり

あはれなる事なり

あはれなる事なり

あはれなる事なり

あはれなる事なり

137

ていへばいふとあれはさういふ

りていふとあれはさういふ

たつたさういふとあれはさういふ

さういふとあれはさういふ

さういふとあれはさういふ

さういふとあれはさういふ

さういふとあれはさういふ

さういふとあれはさういふ

も波は浦まで用いたる夜かれハ

新成は千つげはさういふ

今  
さういふとあれはさういふ

さういふとあれはさういふ

さういふとあれはさういふ

さういふとあれはさういふ

さういふとあれはさういふ

さういふとあれはさういふ

さういふとあれはさういふ

ワタツ海ニ  
いどろはれ  
思ハツム





くあまににちかからうまずをさかひ  
あれたるやどに胡とれまじり

いふまじりしひやちあまをさかひ  
すしごいせられくはこし甲まじり

伊代

くあまににちかからうまずをさかひ

いふまじりしひやちあまをさかひ  
すしごいせられくはこし甲まじり

惟光

くあまににちかからうまずをさかひ

いふまじりしひやちあまをさかひ  
すしごいせられくはこし甲まじり

伊代

くあまににちかからうまずをさかひ

いふまじりしひやちあまをさかひ  
すしごいせられくはこし甲まじり

あつち

くあまににちかからうまずをさかひ

いふまじりしひやちあまをさかひ  
すしごいせられくはこし甲まじり

朱雀院

くあまににちかからうまずをさかひ

いふまじりしひやちあまをさかひ  
すしごいせられくはこし甲まじり

秋交

いふまじりしひやちあまをさかひ  
すしごいせられくはこし甲まじり





あつたあつたにちかきしむてあつた  
あつたあつたにちかきしむてあつた

あつた

あつたあつたにちかきしむてあつた

あつたあつたにちかきしむてあつた

あつたあつたにちかきしむてあつた

あつたあつたにちかきしむてあつた

あつたあつたにちかきしむてあつた

あつたあつたにちかきしむてあつた

あつたあつたにちかきしむてあつた

あつたあつたにちかきしむてあつた

あつたあつたにちかきしむてあつた

あつたあつたにちかきしむてあつた

あつたあつたにちかきしむてあつた

あつたあつたにちかきしむてあつた

あつたあつたにちかきしむてあつた

あつたあつたにちかきしむてあつた

あつたあつたにちかきしむてあつた

あつた

ワカレトテハルカニエトトハ末一ヲモムキ  
 五フ時十トノ玉シモ也カリテ  
 物イニカウ信と云ふ事  
 少悲トトハソノ初モ延々ナリ  
 眞ナレドモトノ心  
 ありだいのいさやうのことよわめて  
 いまでこそおぼたせざるは  
 一人井一ハカニ像成ノエラ  
 一ニヤモフヲ  
 書テモルハキ抄ト也  
 海山

いふ女ら〜いふ女ら〜いふ女ら〜  
 一〜一〜一〜

大武内侍

イ名カリ張塞漢武帝使トシテ  
 葉テ天漢ノ海ヲ究トシテ  
 多世テ海ニヨリテ  
 松尾ノ〜  
 尾更

いさらいハハ小井  
イサライハハ小井  
イサライハハ小井

イサライハハ小井

イサライハハ小井

イサライハハ小井

イサライハハ小井

イサライハハ小井

イサライハハ小井

イサライハハ小井

イサライハハ小井

イサライハハ小井

イサライハハ小井

イサライハハ小井

イサライハハ小井

イサライハハ小井

イサライハハ小井

イサライハハ小井

冷泉院

日におくはにむらあつちいをれは  
うしおしづきをいふしうは

源氏

今めいしうら紀あめいし  
あふいたふさしとあめあふ  
あぐしうしあめいしうしあ  
あふちのあめいしうしあ

歌仲好

あふちのあめいしうしあ  
あふちのあめいしうしあ

大太舟

又三位中人十  
雲ノクニ  
又三位中人十  
又三位中人十

あふちのあめいしうしあ  
あふちのあめいしうしあ  
あふちのあめいしうしあ  
あふちのあめいしうしあ

Handwritten text at the top of the right page.

Handwritten text below the top line on the right page.

Main handwritten text line on the right page.

Handwritten text below the main line on the right page.

Red handwritten text on the right page, likely a note or correction.

Red handwritten text below the main line on the right page.

Main handwritten text line on the right page.

Main handwritten text line on the right page.

Main handwritten text line on the right page.

Main handwritten text line on the right page.

Red handwritten text on the right page, likely a note or correction.

Main handwritten text line on the right page.

Main handwritten text line on the right page.

Main handwritten text line on the right page.

Main handwritten text line on the right page.

Main handwritten text line on the right page.

Main handwritten text line on the right page.

Main handwritten text line on the right page.

Main handwritten text line on the right page.

Main handwritten text line on the right page.

Main handwritten text line on the right page.

Main handwritten text line on the left page.

Main handwritten text line on the left page.

Main handwritten text line on the left page.

Main handwritten text line on the left page.

Main handwritten text line on the left page.

Main handwritten text line on the left page.

Main handwritten text line on the left page.

Main handwritten text line on the left page.

Main handwritten text line on the left page.



江戸の海系ヲ  
いづれかありていふもあはれにもせむ世れいふと  
三つうとて其のやがうとえとひしそそす本第  
のいふまじんをうけしよとあはれいづれかありていふと

あはれうちあはれうちあはれうちあはれうち  
あはれうちあはれうちあはれうちあはれうち  
あはれうちあはれうちあはれうちあはれうち

信

年めれどいふらるる年めれどいふらるる  
あはれうちあはれうちあはれうちあはれうち  
年フド子笑ハ子ニソテ親ト後ル也

年フド子笑ハ子ニソテ親ト後ル也  
年フド子笑ハ子ニソテ親ト後ル也  
年フド子笑ハ子ニソテ親ト後ル也

あはれうちあはれうちあはれうちあはれうち  
あはれうちあはれうちあはれうちあはれうち  
あはれうちあはれうちあはれうちあはれうち

アラタメテ

何れ人ハナクニハトキダニルニキニ付テ返ル也  
あはれうちあはれうちあはれうちあはれうち  
あはれうちあはれうちあはれうちあはれうち

あはれうちあはれうちあはれうちあはれうち  
あはれうちあはれうちあはれうちあはれうち  
あはれうちあはれうちあはれうちあはれうち

あはれうちあはれうちあはれうちあはれうち  
あはれうちあはれうちあはれうちあはれうち  
あはれうちあはれうちあはれうちあはれうち



五節

うくまのこゝろにまはるる人  
ふととあけはのちを

あはれ人あはれ人あはれ人あはれ人  
あはれ人あはれ人あはれ人あはれ人

あはれ人あはれ人あはれ人あはれ人  
あはれ人あはれ人あはれ人あはれ人

あはれ人あはれ人あはれ人あはれ人  
あはれ人あはれ人あはれ人あはれ人

あはれ人あはれ人あはれ人あはれ人  
あはれ人あはれ人あはれ人あはれ人

アソニエトヨ  
天人心  
兼作ク云

五節

あはれ人あはれ人あはれ人あはれ人  
あはれ人あはれ人あはれ人あはれ人

あはれ人あはれ人あはれ人あはれ人  
あはれ人あはれ人あはれ人あはれ人

不気娘  
五節

あはれ人あはれ人あはれ人あはれ人  
あはれ人あはれ人あはれ人あはれ人

あはれ人あはれ人あはれ人あはれ人  
あはれ人あはれ人あはれ人あはれ人

カケテイハバロケテイハバロケテイハバ  
目ケケイハバロケテイハバロケテイハバ  
シモハロケテイハバロケテイハバ

あはれ人あはれ人あはれ人あはれ人  
あはれ人あはれ人あはれ人あはれ人

あはれ人あはれ人あはれ人あはれ人  
あはれ人あはれ人あはれ人あはれ人

五節



○  
舟今しきれをいふまゝなるまゝの

舟人モ不出也 後年同カ子ニキキ出キ名也

あゝいふやいふもあはれなるにいで

あゝいふやいふもあはれなるにいで

肥前国松浦郡鏡神ハ左衛門小次友永大史監廣継雲也  
又鏡山ハ神切皇所所鏡化ニテ石トセルヲ鏡山ト云リ是ラモ  
後ノ神ト云フ也 箱崎神社也ト云フニテハ石トセルヲ鏡山ト  
云ベキニヤ下ノ神ト云フニテハ石トセルヲ鏡山ト云フニテハ  
同解ノヨシキ也 舟ハ鏡ノ神ニテ云フニテハ石トセルヲ鏡山ト  
云フニテハ石トセルヲ鏡山ト云フニテハ石トセルヲ鏡山ト云フニテハ

年々ていふの心れづいあはれ

年々ていふの心れづいあはれ

年々ていふの心れづいあはれ

年々ていふの心れづいあはれ

年々ていふの心れづいあはれ

年々ていふの心れづいあはれ

年々ていふの心れづいあはれ

年々ていふの心れづいあはれ



くーのうへにゆきあはれし  
浮世

くまんとあまのこころし  
ものゝをとりこころ

。きりゆき 浮世

しずかきあまの池のうへに  
あまのこころし

柳、似、珠、腰、池、鏡、文集

業、人

あまのこころし

あまのこころし

年月をたよひてあまのこころし

年月、珠、送、集、巻、下、柳、人

あまのこころし

あまのこころし

あまのこころし

あまのこころし

あまのこころし

紅梅の俣出...  
 たのめ...  
 伊成

よのつ...  
 風吹バ...  
 山吹...  
 十ド...

こ...  
 風...  
 山吹...  
 十ド...

春の上...  
 春の上ノ山モ...  
 春の上ノ山モ...  
 春の上ノ山モ...

春の上...  
 春の上ノ山モ...  
 春の上ノ山モ...  
 春の上ノ山モ...

昔の

いづれか

あつた

好

いづれか

あつた

好

いづれか

あつた

あつた

今

あつた

好

いづれか

あつた

あつた

いづれか

あつた

好





第ワうそはくいちのりれいさき  
いごであいんしむの浦流  
らもききあれあわいりあきハ

朱約云云

ひそあすすうろすまの浦

はらそよこぎれのまら

○ びつあ

三好の中人  
交の月あれほごハ中はのいろ  
いとむりしくあつ  
ちくちく

海出

くさくさよきしちるあまのらあこ

せよんそききあはのやあはれ

まきあまのまはれいあはれ

やうあまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまの

○ 野介

野介風のいづらうのあまの  
あまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまの

あまの

海出

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes. Includes a large character '牛' (cow) and '水' (water).

Handwritten text with a red circle and characters '御' (court) and '水' (water).

Handwritten text, possibly a list of items or names.

Red handwritten text: 名御キフルキ...

Handwritten characters '御水' (court water).

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten characters '玉' (jewel) and '水' (water).

Handwritten text with red annotations: 名御キ... 行幸...

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Red handwritten text: アカササス...

Handwritten characters '大' (big) and '水' (water).



Handwritten text in cursive style, possibly a signature or name, located at the top of the right page.

Handwritten text in cursive style, continuing the message on the right page.

Handwritten text in cursive style, continuing the message on the right page.

Handwritten text in cursive style, including the name '柏中' (Kashi-naka) written vertically.

Handwritten text in cursive style, continuing the message on the right page.

イモセ山 緒部 信奥 列也 文ヲカヨウニ 上初ノ也 玉ノ

Handwritten text in cursive style, continuing the message on the right page.

Handwritten text in cursive style, continuing the message on the right page.

大おの... 大お

Handwritten text in cursive style, continuing the message on the left page.

Handwritten text in cursive style, continuing the message on the left page.

カツナラバ 十月ニハ... 後原中河之

Handwritten text in cursive style, continuing the message on the left page.

Handwritten text in cursive style, continuing the message on the left page.

Handwritten text in cursive style, continuing the message on the left page.

Handwritten text in cursive style, continuing the message on the left page.

○ あつたに... 海氏

は新密通、夏ヲカクニヨマリマタリハタニハ川ニヨリ三十三アリ

人ハトハ ハタニハ川ニヨリ三十三アリ あり格々々々人々々々

ハタニハ川ニヨリ三十三アリ ハタニハ川ニヨリ三十三アリ

えうき月ワ〜女〜に〜

あ〜の〜あ〜

あ〜の〜あ〜

い〜う〜い〜

い〜う〜い〜

ヒトリ井テテユカレハ必チヲチマタリ  
赤井八只獨ト云ル也

い〜の〜い〜

い〜の〜い〜

い〜の〜い〜

い〜の〜い〜

い〜の〜い〜

い〜の〜い〜

い〜の〜い〜

い〜の〜い〜

い〜の〜い〜



イカサナニ三位ヨリ紫ノ文ヲ用ニ  
王加階ノエトラヨリ

冷泉院

九年小石庵へて入梅の丘

たぐくると句ひいづもや

今も昔も同じくあはれいづもあはれ  
ことごとくあはれいづもあはれ

つたうり舟もつるは花のえは

花あはれいづもあはれ

あまともえつる花もあはれいづもあはれ  
ことごとくあはれいづもあはれ

つたうり舟もつるは花のえは

花あはれいづもあはれ

源氏

あがめす行乃草と袖ゆき

イカサナニイカサナニイカサナニ  
イカサナニイカサナニイカサナニ

源氏

あがめす行乃草と袖ゆき

イカサナニイカサナニイカサナニ  
イカサナニイカサナニイカサナニ

あがめす行乃草と袖ゆき

イカサナニイカサナニイカサナニ  
イカサナニイカサナニイカサナニ

あがめす行乃草と袖ゆき



